

令和3年度 第1回学校運営協議会 記録

◇開催日時 令和3年5月14日（金）15：00～

◇開催場所 御船町立高木小学校 図書室

◇出席者

（委員） 北本修吾 高森康裕 藤本悟 田尻孝子 木村みち子

中城重徳 高田一道 米田宗一郎 南恵美子

（教育委員会） 松下主事

（学校） 福田校長 佐藤教頭 山田（教務主任）（記録）

1 会員自己紹介

2 日程説明

3 委嘱状交付

教育委員会松下主事より 代表 北本委員へ

4 協議

（1）会長・副会長選任

会長：北本委員、副会長：高森委員

（2）校長あいさつ・・・福田校長

○（小坂小学校の新型コロナ感染状況を例に）学校での感染対策をしっかりとしていけばクラスターを防ぐことができることを再確認した。

○今のところ教育活動は順調である。5月29日には運動会を予定している。ただし、来賓は全く招かず、保護者のみで午前中だけ行う。本日、結団式を行い、やる気を高めたところである。

（3）コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について・・・佐藤教頭

○資料P3には「御船町立学校の学校運営協議会に関する規則」、P7には「御船町立高木小学校『学校運営協議会』要項」、資料の最後にはコミュニティ・スクールについての説明を載せている。今日はいろいろご意見を頂きたい。

（4）学校の概要について・・・佐藤教頭

○（資料P9「地区別児童数」から）昨年より児童数が少し減っている中、上高野は1年生が5名入学している。児童数の推移に大きな変動はない。元気がよい学年と、落ち着いた学年とあり学年にそれぞれカラーがある。

○（資料P10「職員一覧」から）3年連続初任者がいる。若手の頑張りとは年配の「技」を組み合わせたい。

○昨年度の取組でよかった点は、「欠席が少ないこと」「あいさつ・トイレのスリッパ並べ等が改善傾向にあること」などである。「学校評価アンケートの結果」で高評価だった項目は、「学校が楽しい」「高木小でよかった」「運動・外遊び」などである。

○昨年度の取組の課題は、学力の向上である。生活習慣にも課題があり、平日3時間以上、メデ

ィアを視聴する児童が多く、二極化が進んである。「学校評価アンケートの結果」で課題が見られた項目は、「家庭学習」「基本的生活習慣」「地域のよさ」などである。

(5) 学校運営の基本方針について・・・福田校長

- 「学校として育みたい基本方針」については、一昨年度承認をいただいている。本来ならば、昨年度PTAの議決事項として承認が必要だったが、PTA総会が開催できなかったため、できなかった。ただ、紙上での承認はいただいている。
- 本年度特に変わったところは、「本年度の経営の方向」の「2」、「『熊本の学び』を軸にした学力向上（『SMARTな授業実践』の徹底と家庭学習の充実）」であり、これを軸にやっていく。「SMARTな授業実践」については、町で足並みをそろえて取り組んでいるところであり、その成果を11月28日に発表予定である。本校も、会場校として、1年の英語を発表する。
- 「こんな教職員に」の「2」、「『枠を超えた挑戦』に挑む教職員」についても変更している。P16の学校便りに記載しているように、「担任の枠を超える 今まで当然としてやってきたことの枠を超える」として、副担任制を中心に行うことと、様々な課題に対して若い職員を中心に「プロジェクトチーム」を組み、取組を行っていくことに力を入れていきたい。
- 本校は、児童の欠席が少なく、大きないじめもなく、高木小が好きだという児童が多い。今年度は、こういう取組を行っていくことで、学力の向上を図っていきたい。

<質疑・応答>

- Q あいさつがもう一步の所にある。あいさつは、対応力であり、コミュニケーションである。経営方針等のどこかに、あいさつ指導の取り組み方、例えば、親に対して声をかけたかなどについて明記したい。恐らく高木小の児童は中学校に入って圧倒されるのではないだろうか。意思表示がしっかりできる児童にしていきたい。
- A P14 「『四つのあ』運動の推進（プロジェクトチームの取組）」に「地域との連携とプロジェクトチームの取組」と明記したい。

- Q 6年児童の男の子が今年から自覚があるのか、自分からあいさつをしてくれる。朝から元気をもらっているとともに、感心させられている。セブンイレブンでトイレをしたいという児童がいる中で、登校班の上級生は、「先生からだめと言われているからだめ」と、その児童を論じているが、その指導でいいのか。
- A 自分が交通指導の際、その状況だったときは一緒についてトイレに行かせた。職員は絶対にだめだとは言っていないと思う。その児童は班長としての責任を果たすため故の発言だと思う。そういった児童がいた場合、状況によっては行かせてもよいと思う。ただ、コンビニのトイレを安易に使わないようにしていく必要がある。

- Q 「枠を超えた挑戦」について、熱意のあることだと感じた。「枠を超えた挑戦」について、こんな姿が見られれば、あるいは、こういうのが出てきたらうれしい姿というのが具体的にあれば教えていただきたい。
- A 大阪が舞台となった「みんなの学校」という映画があり、そこの校長が担任の枠を超えた取

組を行っていた。また、東京の中学校だったと思うが、担任の枠を超えた取組を行っていた。

「枠を超えた挑戦」が表れる姿について、明確なものはないし、「こうでないといけない」というものはない。ただ、担任一人一人が、自分の学年、自分のクラスだけがうまくいっているからよいというのではなく、高木小がよくなってほしいという姿を期待している。プロジェクトリーダーは2年生の担任をしているが、もちろん、自分の学年だけでなく上学年の動きを把握しておく必要がある。

(6) 学校運営方針の承認

- 「学校運営方針」について説明があったが、承認してよいか
→ 意義なく、承認。

5 意見交換

- ◎ 高木小では、地域に根ざした学習の一環として、高山に生息するホタルの学習や、地域の産業についての学習を予定している。今後、委員のみなさんに知恵をお借りすることがあると思うがよろしくお願ひしたい。
- ◎ 資料P18「熊本県警（ゆっぴー安心メール）情報⑤」にあるように、県内各地で声かけ事案が生じている。いつもと異なる状況があったり、不審な車を見かけたりしたら、学校に情報提供をお願いしたい。
- ◎ 本校は、文科省教育課程特例校として、1年生から「英語科」の授業に取り組んでいることを付け加えておきたい。
- ◎ コロナ収束の見込みがない。いろいろな行事等に関わっていきたいが、なかなかできないもどかしさがある。
- ◎ 文科省、県、町の決定事項に沿って学校を運営してるが、現段階では感染防止対策をしっかりやった上でやっている。福岡では、運動会は中止とのことである。
- ◎ 本で行った結団式や、先で行った1年生の歓迎会は、各教室からのリモート方式で行っている。「餅つき」や「ふれあい交流会」は、感染の可能性が高い。さまざまな行事について、近づいてきたらその都度ご案内していく。
- ◎ 「登下校見守りハンドブック」に、「ながら見守り」というものがある。身近なところで密にならずに見守りができる。データも教育委員会にあるので、必要なときは連絡してほしい。
- ◎ 月行事、下校時刻が入ったものをホームページに、掲載している。

6 閉会